

関係者各位

OSSコンソーシアムのご紹介

2009年6月2日版

OSSコンソーシアム発起会メンバー





OSSコンソーシアム概要

1. 名称

- A) OSSコンソーシアム

2. 目的

- A) 会員企業(ユーザ)のOSS採用促進
- B) 会員企業(ベンダー)のOSSビジネスの推進
- C) OSS市場の活性化貢献

3. 基本ポリシー

- A) ビジネスとしてのOSSをメインテーマとして、OSS市場活性化に向けた問題点の解決や利点の発展を活動主眼とする。
- B) 前項実現のためには、会員間での協力による効率的なアウトプットを行うことを心がける。
- C) ユーザが参画できるようなコンソーシアム環境の整備及び活動の実現を目指す

4. ロゴの由来



OSSコンソーシアムのロゴは海外のOSSコンソーシアムとの連携も視野に入れていることから、日本国花である桜をイメージしたロゴにしています。

役員候補(社名・団体名五十音順)



1. 発起人代表(会長)候補

- 富士ソフト株式会社 顧問 兼 サイバーコム株式会社 代表取締役副社長 渡辺 剛喜

2. 発起人副代表(副会長)候補

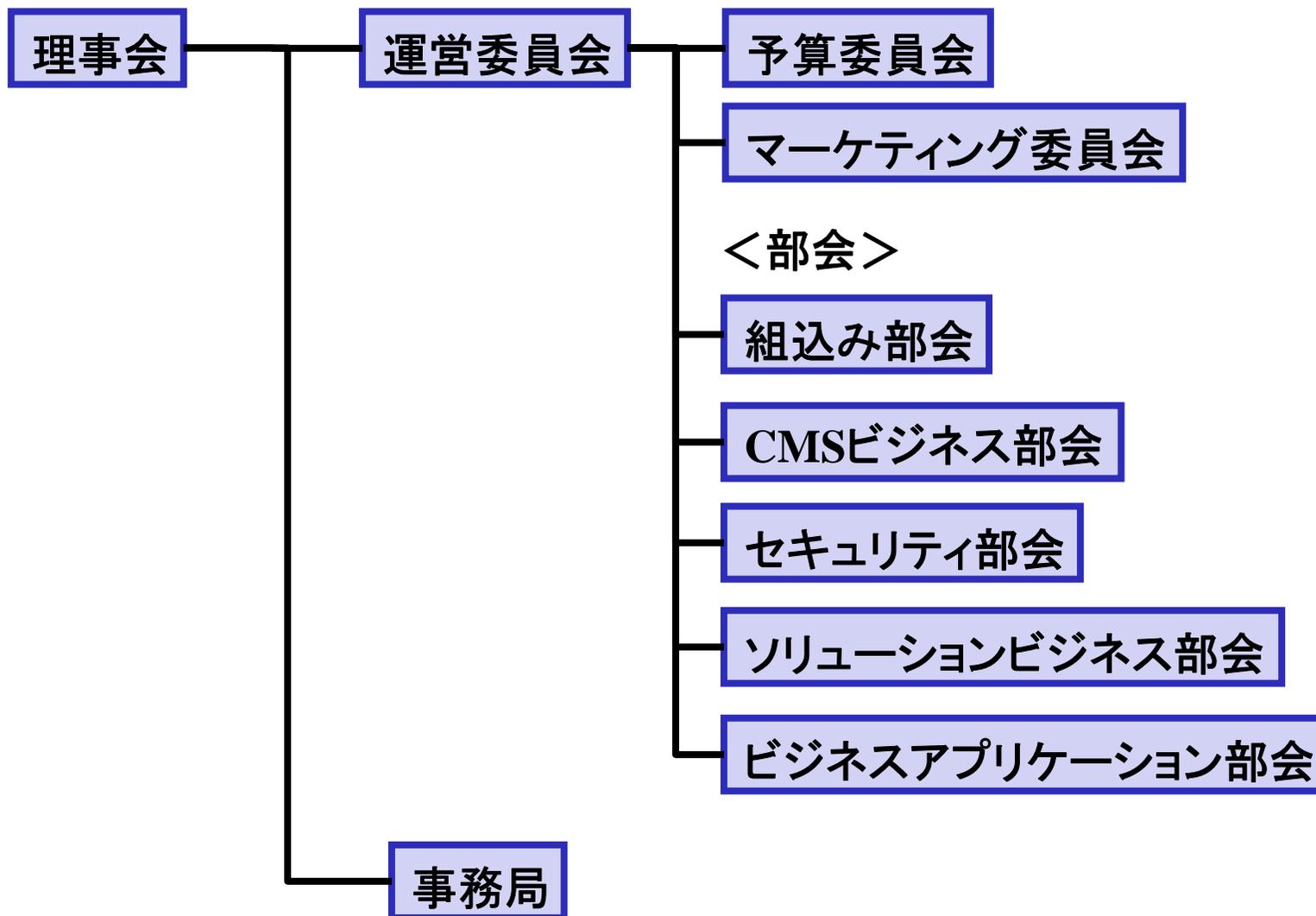
- 株式会社アックス 代表取締役社長 竹岡 尚三
- オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 代表取締役 チーフアーキテクト 小田切 耕司
- ノベル株式会社パートナー&アライアンス営業統括部長 斉藤 雅美
- ファルコンストア・ジャパン株式会社 営業本部 パートナー営業部 部長 吉政 忠志
(マーケティング委員長兼任)

3. 発起人(理事)候補

- オープンソース・ワークショップ 代表 永原 篤
- 株式会社パドラック 代表取締役 杉本 等
- 株式会社ビイガコーポレーション 代表取締役社長 山崎 実
- 株式会社日立システムアンドサービス 研究開発センタ 技術基盤G 主任技師 吉田 行男
- 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 技術開発本部 研究部
技師 Linuxプロジェクト プロジェクトリーダー 才所 秀明
- 株式会社マインド 営業部 部長 屋代 和将
(事務局長、予算委員長 兼任)

4. 発起人(幹事)候補

- A) 三菱総研DCS株式会社 SI技術部 部長 大和田 牧郎



1. OSSコンソーシアムWebサイトによる会員・外部向け情報提供
 - A) 臨時WebサイトURL: <http://www.linuxcons.jp/osscons/>
 - B) 6月3日以降のURL: <http://www.osscons.jp>
2. メールングリストによるOSSコンソーシアムの情報伝達
3. メールマガジンによる会員・外部向け情報提供
4. 総会の運営
5. OSSコンソーシアム各種セミナーの運営
6. 各部会の運営

1. ビジネス会員

A) 理事会員

- i. 対象: OSSコンソーシアム理事企業
- ii. 年会費: 9万6千円(税抜)

B) 一般会員

- i. 対象: OSS関連のテクノロジーそのものでビジネスを実施もしくは計画されている企業、団体・個人
- ii. 年会費: 6万円(税抜)

C) 準会員

- i. 対象: 一般会員の期限付き試用会員
- ii. 期限: 半年間を期限にて参加可能
- iii. 年会費: 無料
- iv. 特記事項: 投票権はなし。登録のみで参加可能

2. ユーザ会員

- i. 対象: OSS関連のテクノロジーを利用している企業、団体、個人
- ii. 年会費: 無料



部会紹介

1. 目的
 - 組込みで使えるオープンソースを比較検討し、長所や問題点の議論を行うと共に、情報を共有し、組み込みにおけるOSSの普及・利用促進に向けた活動を行う
2. 参加対象
 - 組込みで使えるOSSに興味がある人
3. 活動内容
 - Android, Linux, BSD, OpenSolaris, GTKなどの組込み応用について調査や、議論する
4. 活動周期
 - 場所: 部会を月一回都内で開催
5. メリット&成果物
 - 組込みでのOSS活用技術及び動向に関する最新情報が入手できる
 - 部会での調査・議論結果を成果物として展開する
 - 組込み部会主催のセミナー実施をする
6. リーダー名
 - 株式会社アックス、代表取締役社長 竹岡 尚三
 - 富士ソフト株式会社、課長、弘島 真吾

1. 目的
 - 日本のWebシーンにおけるCMSの普及・利用促進に向けた活動を行う

2. 参加対象
 - CMSのユーザで情報交換を行いたい方
 - CMS選びでお悩みの方
 - CMSのデザインをしたい方
 - 自分たちのCMSをもっと知ってもらいたい方
 - CMSを使用したビジネスを行われている方
 - その他、CMSに興味のある方 ※OSS、商用を問いません

3. 活動内容
 - CMS関連イベント紹介
 - CMS関連セミナーの開催(プロダクト・ライセンスなど)
 - CMS相談窓口の開設
 - CMS一覧、ソリューションマップの作成
 - CMS使用・構築事例の公開
 - 各種セミナーでのCMS紹介

4. 活動周期・場所
 - 部会を月一回程度、都内で開催

5. メリット&成果物

- CMSの導入構築や提案のための検討資料の提供
- 各CMSの構築事例集の提供
- CMSに関する情報交換の場を提供
- 事例や研究資料の公開などによる部会参加企業のブランド向上
- CMSに関する問い合わせ窓口を設置し部会参加企業へビジネスチャンスを拡大
- CMSに関するビジネスにおける協業先を探すことが可能

6. リーダー名

- 株式会社パドラック 代表取締役 杉本 等
- オープンソース・ワークショップ 代表 永原 篤

1. 目的
 - セキュアOSを中心としたセキュリティ対策の普及・利用促進に向けた活動を行う。
2. 参加対象
 - セキュアOS等のセキュリティ対策技術に興味のある方
 - 特権管理、権限分割にお困りの方
 - セキュリティに関する情報交換等を行いたい方
3. 活動内容
 - セキュアOSを中心としたセキュリティ対策技術や、その利用方法・活用方法を調査検討し、文書を中心とした成果物を作成する。
 - 上記成果物をWeb上やイベント等で公開する。
4. 活動周期・場所
 - 部会を月一回都内で開催

5. メリット&成果物

- セキュリティ技術及び動向に関する情報交換の場を提供
- 成果物の作成及び発信を通じた部会メンバ及び所属企業のブランド向上
- 過去の成果物
 - セキュアOS評価項目 (Ver1.0~3.0)
 - セキュアOS運用項目 (Ver1.0)
 - セキュアOS上のアプリケーション動作検証 Alfrescoの動作検証結果

6. リーダー名

- 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 技術開発本部研究部 才所 秀明

1. 部会の目的

- A) ソリューションビジネス部会(以下、本部会と称す)は、Linux及びオープンソースを活用した
- B) ソリューションビジネスについて、調査・研究、情報交換を行うと共に、本部会への参加企業間での協業を模索することにより、OSSビジネスの発展を目的とする。

2. 参加対象

- A) 主としてOSSを活用し、下記の各種ソリューションビジネスを展開している企業
 - i. コンサルティング
 - ii. システム構築・開発
 - iii. 運用・保守

3. 活動内容

- A) OSS関連ソリューションの紹介
 - i. 紹介内容:OSSを活用したソリューション
 - ii. 対象OSS:ミドルウェア及びAP
 - iii. ソリューション内容については、特に限定しない
- B) OSSソリューションマップの作成
 - i. 部会にて紹介頂いたソリューションのマップ化を行う。
- C) 新規ソリューションビジネスについての検討
- D) 参加企業間でのブレインストーミングによる新規ソリューションビジネスの検討
- E) セミナーの開催(年1回)
 - i. 上記紹介されたソリューションの中から選択。
- F) その他、部会メンバーからの要望事項。

4. 活動方法

- 月1回のミーティング及びメーリングリストにより活動を実施する。

5. メリット&成果物:

A) メリット:

- i. ソリューション提供企業の生の情報の入手
- ii. ソリューション提供企業との協業の検討

B) 成果物:

- i. ソリューションマップの作成

6. リーダー名:

- 株式会社日立システムアンドサービス 研究開発センタ 技術基盤G 主任技師 吉田 行男
- 株式会社バイガコーポレーション 代表取締役社長 山崎 実

1. 部会の目的

- オープンソースビジネスアプリケーションアプリケーションの積極的な普及啓蒙活動を行うことにより、各ビジネスアプリケーションの繁栄を図り、OSSの普及にも貢献する

2. 活動内容

- A) 年間スケジュールの作成(イベントや活動進行表など)
- B) 部会会員のオープンソースビジネスアプリケーションの一覧を作成する
 - i. 一覧の項目:コミュニティ、開発元、サービス紹介ページ、ベンダー、ライセンス、ダウンロード数、想定規模、利用社数、価格レンジ、環境、機能など
- C) 見込ユーザに対してオープンソースをアピール(オープンソースビジネスアプリケーションのメリット、デメリット表)
- D) ビジネスアプリケーション相談室を設置し、営利目的や案件ベースのお問い合わせはビジネスアプリケーション部会員への紹介
- E) 部会員の構築事例の一覧を作成(ビジネスアプリケーション部会のフォーマットを作成)
- F) 各ビジネスアプリケーションへのユーザ視点からの評価会の開催
- G) エンドユーザー向け展示会へ出展し、各アプリケーションのアピール
- H) QAデータベースの作成
- I) 未発表事項の先行発表を行う(可能な限り)

3. 活動対象

- A) 業務で使えるビジネスオープンソース全般
 - 例:ERP、販売管理、財務会計、人事給与、生産管理、在庫管理、CRM、SFA、勤怠管理、グループウェア、メール、ECM文書管理、E-learning、SNS、CMS

4. 参加対象者

- A) オープンソースビジネスアプリケーションに興味のある方
- B) オープンソースビジネスアプリケーションを利用しているユーザ
- C) オープンソースビジネスアプリケーションに興味のある団体、企業、研究者、学生
- D) オープンソースビジネスアプリケーションの取扱いを検討する企業
- E) オープンソースビジネスアプリケーションを開発している技術者
- F) オープンソースビジネスアプリケーションを利用しているユーザ

5. 活動方法

- A) 毎月第3火曜日17:00～部会開催
- B) 場所は持ち回り
- C) 全員役割を持ち回りで行う

6. 成果物

- 活動内容に伴って、以下の成果物を予定
 - i. 部会ホームページ
 - ii. WEB相談室の質問等
 - iii. オープンソースビジネスアプリケーション一覧
 - iv. オープンソースビジネスアプリケーション連携ソリューション一覧
 - v. オープンソースビジネスアプリケーション構築事例一覧
 - vi. QAデータベース

7. 体制

本部会は、次のリーダーが主体となり活動を行う

- リーダー 株式会社マインド 屋代和将



今後の予定

OpenSourceWORLD2009への出展

1. 後援団体として参加いたします。
2. CMSビジネス部会によるブース出展をいたします。
3. 7月1日(水)10時から10時45分の講演枠をいただいています。

<講演枠案>

タイトル:OSSコンソーシアム設立記念講演

「実例によるOSSビジネスの利益の上げ方」

～インフラ編、CMS編、アプリ編で具体例を専門家が解説します～

講師:

オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 代表取締役 小田切 耕司

オープンソース・ワークショップ 代表 永原 篤

株式会社マインド 営業部 部長 屋代 和将

対象:OSSベンダー

概要:

不景気が故に、盛り上がりを見せるOSS業界ですが、利益の上げ方にはコツとちょっとしたノウハウが必要です。ここでは、インフラ、CMS、アプリケーション分野の専門家を招き、それぞれのビジネスにおける利益向上のための、ノウハウを解説します。OSSビジネスの戦略を立案される方、部門責任者の方は必見です。また、7月発足予定のOSSコンソーシアムの概要も解説します。



1. 開催概要

- A) 日時: 2009年7月29日(水曜日)
- B) 場所: 日立システムアンドサービス様セミナー会場
- C) 実施内容
 - A) OSSコンソーシアム概要説明
 - B) 役員選出・承認
 - C) 各部会説明
 - D) 新規約解説
 - E) 設立記念セミナー



OSSコンソーシアム 発起人会事務局(株式会社マインド内)
〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町6-2 ミヤダイビル8F
TEL:044-272-9093 FAX:044-272-9094